

▽2016 (H28) 年度 第 10 回理事会議事録

日時：2017.3.15 (水) 18:30~21:00 場所：みんなの広場3番テーブル

出席理事：岡部・里・尾辻・大村・石川・紺野・江刺・鍛冶・中原

欠席理事：安部

資料：レジメ

【報告とふりかえりその他】

◇2/18(土) 講師派遣枠-花炭作り(スキルアップ講習) 13名参加

◇2/18(土) 講師派遣枠-子ども野鳥観察会 12名参加

- ・講師派遣枠は市民なら誰でも使えるが、知らない人が多いので今後はなるべく広く広報して誰でも使えることを知らせるべき。→理事の認識が一致していないので、政策課に確認する。

■3/5~3/11 交流会 (2/15 参加団体説明会)

3/5 映像で見る「調布の自然 昔と今」について 参加者 44 名(うち雑木林ボラ講座卒業生 4 人)

アンケート結果=映像は3つとも興味深い。観覧者が少ないのがもったいない。

- ・興味深い映像であることを、もっと口こみでも知らせるべきだった。
- ・環境活動交流会ということで敬遠した方もいた。もっと親しみやすい広報にできると良い。
- ・始まる前に帰った方がいたので何か工夫すべき。(帰った理由は不明)
- ・映像を何度も流すと思っていた方もいた。(以前は部屋でビデオを流しっぱなしにしたので知らずに来て帰った方がいた。)複数回上映にしてほしいとの声があった。
- ・古い映像は特に興味を持っていただいたので、昔のことがわかる映像を何本かまとめて上映すると効果が大きいと思う。ねらいを絞ったやり方にすると良い。
- ・昔の映像を回顧するだけでは環境活動交流会の意味がないのでは。
- ・人を集める目的が狙いの企画だったのは確か。関心がある人おり広がりも出てくる企画であることがわかったので、受託事業とは別に映写会をやって市民会議の名前を知ってもらえばよい。
- ・現在の活動を見てもらえたのは良かった。
- ・市民の映像はネットでも見ることが出来るようにしたい。

パネル展示について

- ・パネルはきれいだったが観覧者は少なかった。
- ・昨年と比べ各団体の資料が多かった。
- ・テーブルに置いた活動マップに団体の方が書き込みをしてくれたのは良かった。が字が細く見にくかった。
- ・他の用事で来た方もチラチラみしてくれた。当番の声かけの意味はあった。
- ・常に当番がいて仲間と話しができるのは良かった。
- ・雑木林の写真を数点飾ったのは観覧の導入口として良かった。ただし、写真の所に説明がなかったのは残念だった。→来年はまた写真を募集したい。

交流カフェについて ☆樹木から駅前広場を考える 15名 ☆調布の里山で田んぼの学校 6名?

☆里山資本主義について 7名 ☆環境ボランティア支援の仕組みづくり 9名

- ・昨年とは違ってテーマがはっきりしていたので、今回のやり方も良かった。
- ・「樹木から駅前広場を考える」は経過説明等が長く、話の方向が想像と違っていった。
- ・司会者がはっきり会話の目的と方向性を持っていないと話がずれる。
- ・交流カフェは手を挙げた人におまかせだったので、仕方がない。今後の課題。
- ・「里山資本主義」は話途中で時間切れだった。

- ・「環境ボランティア支援の仕組みづくり」報告書については石川さんをお願いしたい。(早急に)
- ・昨年は各団体の体験交流のような形になったが、今回はテーマがはっきりしていてこれは良かった。樹木の会は環境市民会議がこの問題をとりあげないことを気にしていたので交流ができたのも良かった。
- ・WSのとき飛び込みでごみの堆肥化に関する話もしたが、その扱いはどうするのか。→話題提供した方にも報告を書いていただくことになっている。「こういう話もあった」と追加する形に纏める。(担当:江刺)。

◇29 年度雑木林ボランティア講座 進捗状況

昨年と同様の流れ。すべて土曜。現在講師に日程を確認中

第1希望 5.20/7.22/9.16/10.21/11.18/12.6

- ・道具の体験実習と炭焼きは雨天時予備日を設けたい。
- ・仕様書をよく読んでPJメンバーと講師、行政で決めること。チラシ等には「日程は止む終えず変更の場合あり」などの注意書きを入れる。

◇28 受託業務実施報告・収支報告書政策課へ提出(3/31 付で赤川さんの監査を受け監査報告書作成する)

【協議事項など】

□交流会 次年度交流会へ向けて 学習会「緑保全とまちづくり？」 椎原晶子(理事メール安部提案)

1月の景観審議会の副委員長である、椎原さんから条例などの話が出たので、安部さんから声をかけた。

緑や良好な環境・景観をとくに都市部で保全するためのさまざまな仕組みができていますが

①どのような仕組みがあるのか

②実際の適用ケースを紹介してもらいながら、

③それらを身近な課題で実際に使いこなし、役立てるためにはどうしたらよいか何ができるか。

などの話を聞きたい。(理事メール大村)

今のところ6/17(土)にお願いする予定。(異義なし) これについては大村も協力する。

安部・大村が交流PJの講演についての担当となる。

- ・交流プロジェクトの中で行う事業提案なので、無責任にならないよう進行してほしい。

■5月27日(土) 総会 あくろす3F第1会議室 2時~5時 予約済

- ・たづくりの座敷を仮予約したがあくろすに変更

○28 年度自主事業報告・PJ報告+受託業務報告 28 決算報告/ 監査報告

○29 年度自主事業活動方針

(1)事業計画 目的/年間実施イベント計画案

(2)財政計画/29 予算案

(3)29 受託事業計画/予算見積もり【厳しい】

(4)人事-理事改選案 次年度も同メンバー。

以下(1)(3)(4)(8)に関わる意見交換

・理事以外でイベントなど外部の方も含めPJでやってもらえる人を探す。→何のイベントを何回やるか、決めてから頼むようにすれば良い。

・外部に頼むときの資金はどうするのか。→ 無償では頼めないので、財政・事務局と相談して決める。

・次年度の活動方針として「佐須を盛り上げるイベントを行う」ことが決まっているが、尾辻さんは何回くらい協力できるか。→ しめ縄・花炭・食べ物がらみ の3回くらい。

・佐須イベントに予算をつける。→1回1万円くらいか。赤字にならないように参加費を設定すること。

・早急に日程を決めて市報に掲載する。(すくなくともチラシには3回分の予告をする)

◇規約改正あり。訂正という意味あい。⇒「賛助会員」の削除ほか修正案を監事に依頼した。

◇データPJにきちんと予算を付ける。

(5)メルマガ発行の件(目的/内容案/発行日/担当者:いずれも未定)

(6)行政との話し合い(2回)

(7)総会議案書とりまとめ〆切(4/28) 決定⇒印刷(5/15)・発送()

議案書はHPに載せ、MLでお知らせする。出欠はML可 発送(一部会員向けのみ-昨年は9通)

(8)PJの運営方針→ 時間切れで次回協議する

■29・30 年度環境保全審議会「市民委員 5 名募集」への応募お願い(理事会宛) 4/5 市報にて公募
年 3 回 2 時間程度 調布市の取組で環境に関すること 委員報酬あり
斎藤亀三氏が今年度でやめるので、メンバー一新の意味があるかもしれない。

■4/9(日)多摩川クリーン作戦は不参加とする。

参加者が少ないので団体としてはやめる。MLでお知らせして個人参加を促す。

■29 環境フェアへの参加申し込み書/担当者:(里)

受託: ゴーヤ配付業務 担当責任者:(江刺)

昨年はゴーヤ配布の後始末がされていなかった。次年度は忘れずに最後まで責任を持つこと。

■2017 アースデイ調布 参加/担当者:(紺野)

テーマ「調布の宝物」(佐須の里山がテーマ) パネルトーク(水辺の楽校・まめちよ・田んぼの学校)

※注意:参加申込み書提出/〆切(3/20)を過ぎると、プログラム・チラシに掲載されなくなる。

■次年度視聴覚等機材購入について

・PCの更新をする場合は動画再生・編集に使えるような程度の高い物が欲しい。→情報発信にはぜひ新しいパソコンが欲しい(事務局)

→積み立て金はまだ2万5千円なので今のところ難しい。(会計)

・動画を撮ったり、SNSに使えるスマホが欲しい。→動画を撮るならカメラで充分。

・デジカメは受託事業予算に入れているが削られる可能性あり。(4万円)

・ユーチューブでの公開をしたいとの要望がでていますが、無料で登録して載せられるのか。→ネット公開は顔が出ることなどかなり気をつけないといけない。安易にはできない。

・環境市民活動動画はPR効果が大きい。現ブログに公開がベターなのかを含め、詳しい人に担当してほしい。

◆今後の日程確認

4 月初旬 ちょうふの自然だより発行

5 月 13 日 (土) アースデイ

5 月 20 日 (土) ポラ講座開講予定

5 月 27 日 (土) 総会 会費集め・懇親会手配(尾辻)

6 月 3 日 (土) 環境フェア メインの出し物 ()

6 月 17 日 (土) ~ 18 日 (日) 29 年度交流会 : たづくり 2F ギャラリー

次回理事会 4 月 12 日 (水) たづくり (原則: 第 2 水曜)